

学校だより



筑前町立夜須中学校

令和3年10月27日 第5号

文責 校長 木村文彦

応援発表会・文化祭を実施しました！

10月19日に3年生による応援発表会を実施しました。当初、5月に予定していた体育祭は、3度の延期を繰り返しました。そして、9月の緊急事態宣言の延長を受け、全体での体育祭は実施できないとの判断をさせていただきました。まさに苦渋の決断でした。しかし、3年生のこれまでの努力を無駄にはしたくない、中学校最後の思い出に残る取組をつくってあげたいという思いから、この応援発表会を計画しました。このような状況の中、果たしてモチベーションを保てるのだろうかと不安もありましたが、短い練習期間を集中して頑張り、発表会当日は見事な演舞を披露してくれました。この様子は、オンラインで1, 2年生にも配信しました。来年は1, 2年生が体育祭の長い歴史と伝統を引き継いでくれることを願っています。今年の体育祭のスローガンは『翔(かける)』～仲間と共に更なる高みへ～でした。全校での取組はできませんでしたが、発表会を通して更なる成長を遂げてくれた3年生の姿が頼もしかったです。



応援発表会の4日後、10月23日には校内文化祭を実施しました。本年度も規模を縮小しての半日開催、併せて感染症予防のため各学年ごとの発表を他学年はオンラインで鑑賞する形をとりました。当日は吹奏楽部の演奏、書道部のパフォーマンス、合唱コンクールを行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、文化部にとっては練習の成果を発揮する絶好の機会となりました。また、合唱コンクールは今年になって初めてのクラス単位の取組になりました。感染予防のため緊急事態宣言中は全く合唱練習はできませんでしたが、10月に入り、ようやく学校中に歌声が響き渡るようになりました。コンクールでは短期間の練習とは思えないほど、どのクラスも素晴らしい合唱を披露し、感動を与えてくれました。この取組で、クラスの団結力が一層高まってくれたものと思います。今年の文化祭のスローガンは『虹』～七色に輝く 未来への架け橋～でした。夜須中生全員でコロナ禍を乗り越え、一人ひとりが輝き、素晴らしい発表を作り上げてくれました。この文化祭を通してできた絆がそれぞれの夢や未来への架け橋になることを願っています。



保護者の皆様には、参加人数の制限や検温など、ご協力いただきありがとうございました。

